

## ラーニング・サポーター ♪ 4月のつばやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つばやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています!

### <4月のつばやき♪INDEX>

- p1 新しい春を迎えられた皆さまへ @K.S.(日本文学専攻博士課程後期1年) 4月10日 up  
 p1 あなたにとっての「自分の居場所」はいくつありますか?  
 @T.M.(人間発達学専攻(食物:管理栄養士)博士課程後期1年) 4月22日 up  
 p2 ウェス・アンダーソンすぎる風景展に行ってきました @T.R.(英文学専攻博士課程前期1年) 4月21日 up  
 p3 今年度の目標 @M.A.(人間発達学専攻(児童)博士課程後期3年) 4月14日 up  
 p3 目標:毎日15分〇〇する! @S.N.(英文学専攻博士課程前期2年) 4月3日 up

### つばやき1♪

#### 新しい春を迎えられた皆さまへ

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

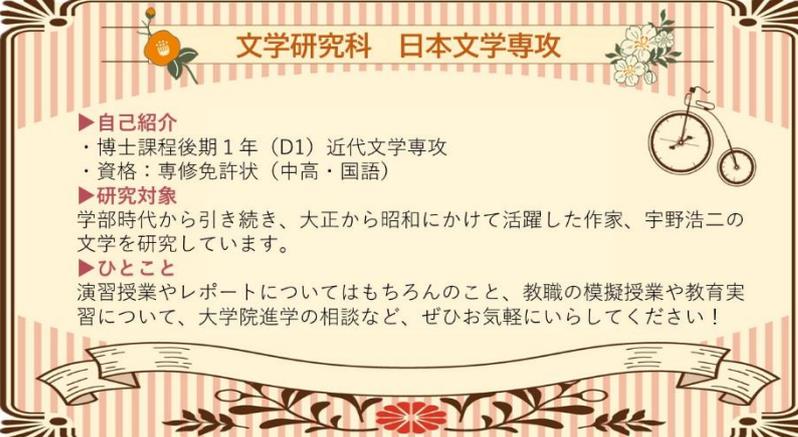
日本女子大学の学生として始まった新しい春。これからどのような4年間が待っているのかと思うと、慌ただしさの中にも心はずむ毎日をお過ごしのことかと思えます。4月初めのつばやきに何を書こうか色々と考えていたのですが、今回は新たな一歩を踏み出された皆さまへのお手紙という形にしたいと思います。

これから始まる大学生活をより充実したものとするために、私から1つお伝えしたいことがあります。それは今ある環境を存分に活かしてほしいということです。大学内には様々な設備やサポートが用意されています。沢山の本を所蔵する大学図書館はもちろんのこと、学科専用の図書室があったり、自由に使えるパソコン演習室や印刷機があったり。体調面の不安に関しては保健管理センターで内科や婦人科の先生に相談ができますし、悩みを抱えた際にはカウンセリングセンターを利用することもできます。また、同じ学生に相談したい時にはピアサポーターがいますし、授業についての質問をしたい時には私たちラーニング・サポーターがいます。利用できる設備やサポートが思いのほか沢山あることにきっと驚かれるはずです。

与えられた環境をまずは十分に理解すること。それが大学生活を充実させる近道であると感じます。学年が上がるにつれて、利用したことのないものに手を出すのは何となく気が引けて、結局は既に知っているものに頼って4年間を過ごしてしまいがちです。それでも何となく大学生活は送れるかもしれませんが、やはり沢山のサポート体制を知っているに越したことはありません。それらを何かに頼った時の大切な拠り所としていくためにも、ぜひ一度、日本女子大学でできることを確認してみてください。私たちラーニング・サポーターも皆さまの大学生活をより豊かなものにするお手伝いがありましたら幸いです。すてきな4年間となりますことを願っております。

### つばやき2♪ あなたにとっての「自分の居場所」はいくつありますか?

新入生の皆さま、入学おめでとうございます。大学生活が始まって数週間、新生活にも少し慣れてきた頃でしょうか。これからの4年間、皆さまが自分らしく充実した大学生活を送れることを祈っております。レポートの書き方や参考文献の集め方など学修面に関するご相談はもちろんのこと、学生生活に関するお悩みがございましたら、ぜひお気軽に



文学研究科 日本文学専攻

▶自己紹介  
 ・博士課程後期1年(D1)近代文学専攻  
 ・資格:専修免許状(中高・国語)

▶研究対象  
 学部時代から引き続き、大正から昭和にかけて活躍した作家、宇野浩二の文学を研究しています。

▶ひとこと  
 演習授業やレポートについてはもちろんのこと、教職の模擬授業や教育実習について、大学院進学のご相談など、ぜひお気軽にいらしてください!

JWUラーニング・commonsさくらにお立ち寄りください。私たちラーニング・サポーターは相談者の方に寄り添いながら、対話を通じて、一緒に解決方法を探していけたらと思っています。

さて、新年度に相応しい話題は何だろうと考えていたのですが、今回は「自分の居場所」について綴りたいと思います。突然ですが、皆さんの普段の生活の中に「自分の居場所」と聞いて連想するコミュニティはいくつありますか？ 家族、大学内外での友人関係、研究室、古くからの仲間、サークル、アルバイト・インターン、ボランティア活動、地域のコミュニティ、趣味の集まり、よく行くお店での繋がり etc… 「自分の居場所」の定義は人それぞれですし、コミュニティ内での自分の立場や関わり方は日々変化していくものだと思います。そこで私が皆さんにお伝えしたいのは、1-2つの特定のコミュニティに依存するのではなく、3つ以上のコミュニティに所属することをおすすめしたい、ということです。小規模でも「自分の居場所」と思える場所を複数見つけておくことは、良い意味での逃げ場を確保しておくことになり、心のゆとりを持って生活するための安心材料になります。どこかで落ち込んだり挫折するような出来事があったとしても「ここがダメでもあそこがあるから、まあいいか」と少し気楽に捉えることができ、肩肘張らずに新しいことに挑戦したり、前向きに行動できるのではないのでしょうか。

この4月から新たなコミュニティに所属する方、何か新しいことに挑戦しようとしている方、自分らしく充実した大学生生活を送るために、「自分の居場所」を複数見つけておくことをぜひ意識してみたいはいかがでしょうか。

2023年度ラーニング・サポーター

### 人間生活学研究科 人間発達学専攻1年

経歴	サポート内容
本学 食物学科 管理栄養士専攻 卒業 食物・栄養学専攻(修士課程) 修了	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修の相談・勉強の進め方</li> <li>レポート・プレゼン資料の作成方法</li> <li>臨地実習や教職(栄養教諭)、資格に関する相談</li> <li>管理栄養士国家試験対策 など</li> </ul>
<b>保有資格</b> 管理栄養士 フードスペシャリスト 栄養教諭専修免許	

皆さまの学生生活のお手伝いができたらと思います。ぜひお気軽にお声掛けください。

### つばやき3♪ ウェス・アンダーソンすぎる風景展に行ってきました

新年度が始まり、皆さんいかがお過ごしでしょうか。そして、今年度入学された1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活に関するちょっとした不安や疑問があれば、ぜひ図書館2階「さくら」にお越しください。ラーニング・サポーターがお待ちしております。

私は先日、天王洲の寺田倉庫 G1 ビルで開催されている「ウェス・アンダーソンすぎる風景展」に行ってきました。この展覧会は、昨年韓国で開催されていたもので、今回が日本初公開です。世界各国の秘密の場所を訪れる人々の旅を疑似体験できるよう構成されており、ウェス・アンダーソン監督の映画の1シーンを切り取ったような世界観を持つ300点余りの写真が紹介されています。

ウェス・アンダーソン監督はアメリカ出身の映画監督で独特の世界観、センス、構図、ユーモア等で魅了する作品を多く製作している監督です。展示は、シンメトリーや強烈な模様、鮮やかなパステルカラーが美しく、それらの場所にまつわる物語とともに紹介され、訪れたことがある場所でも、ない場所でも、すべてが新しい景色で、いつか自分の目で見てみたい景色、場所と出会うことができるかもしれません。私は特に、海の写真に惹かれて展示をまわっていました。同じ海の写真でも、国、場所、物語が違うとまったく違うもので、一つ一つが本当に素晴らしかったです。海外に訪れてこの景色を見たいなとも思いましたが、もっと日常の、身の回りの景色に目を向けて、素敵な景色を発見したいなとも思いました。また、ウェス・アンダーソン監督の新作映画『Asteroid City』の日本公開が9月1日に決定したそうなので、こちらの映画も観に行きたいなと思っています。

[参考 URL]

ウェス・アンダーソンすぎる風景展—AWA 展

<https://awa2023.jp> (最終閲覧日:2023年4月21日)

### 文学研究科 英文学専攻 1年

- 自己紹介  
所属は文学研究科英文学専攻 博士課程前期1年です。
- 一言  
英文学科や大学院、教職の履修についての相談はもちろん、大学生活に関するちょっとした悩みや不安など、英文学科以外の方も気軽にご相談お待ちしております。
- 研究分野  
専門分野はアメリカ文学で、現在はアメリカ南部文学に興味があり学びを深めています。学部の卒業論文はアメリカの公立校における問題、特に進化論論争と折りに関する議論に焦点を当て研究していました。

つばやき4♪ 今年度の目標

皆さま、ご入学、ご進級おめでとうございます。

新年度が始まったからと言って特に生活が変わらない私も、春のこの時期は気持ちが新しくなる気がする。この空気になり、今年度の個人的な目標を決めた。「何事も追い込まれる前に取り組む」である。

過去のつばやきでも書いたような気がするが、締め切りギリギリになるまで動き出すことができないのが私の悩み(?)である。その起源は中学生の夏休み時代までさかのぼることができる。8月末まで、宿題をやっていないことに気を重たくしながら、でも手をつけることなく始業式前日を迎える。新学期開始1週間は毎晩徹夜をして苦しかった。

この愚行は、勉強以外にも及ぶ。2年くらい前に自動車の免許を取った。免許を取るために基本的には教習所に通うことになるが、入校した日から9か月で卒業しないと強制的に退校となり、また一から通い直さなくてはならないという国のルールがある。座学の講義と実際に乗車する実技を、決められた回数こなし試験に合格すれば卒業となる。合宿であれば2週間とれるらしいので、入校した時は「さっさと通ってすぐ車を運転できるようになりたい！」と意気込んでいた。

にもかかわらず、(4月に入校したので)最終期限の12月末には未消化の授業がたまっており、期限最終日に試験を受け、なんとか卒業となった。授業を受けている回数は、他の人と変わらないのに長く通っているので自分が古株のような気持ちになり、また、教習所の春夏秋冬、全ての季節を体験したことが誇らしかった(?)のを覚えている。

こうして常にギリギリ生活をしてきて思うのは、絶対に時間にゆとりをもって早めに片づける方がよい、ということである。締め切りまでの精神的負担も減り、何より成果物の完成度が違う、はずだと思う(追い込まれたときのほうが、脳が活性化するのでどうなんだろう?とは思いますが、やらない言い訳に過ぎない気もする)。

当たり前すぎて恥ずかしいが、今年度は、人生で初めてのゆとりのある締め切り生活を送ると決意し、ここに宣言します。

**人間生活学研究科 人間発達学専攻**  
**博士課程後期4年(児童学)**

- 経歴  
本学 家政学部児童学科 卒業  
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業
- 資格  
保育士/幼稚園教諭/小学校教員
- 研究分野  
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究  
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています

「進路に向けて何をしよう?」  
「研究テーマはどうやって決める?」  
「教職は大変かな?」など...  
気になっていることはありませんか。  
ちょっと誰かとお話してみたいないうときに  
お気軽にお声がけください♪



つばやき5♪

目標：毎日15分〇〇する!

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

そして在学生の皆様、ご進級おめでとうございます。新年度を迎え、どんな心境でしょうか?「必修科目や論文に力を入れたい」、「アルバイトに挑戦したい」、「留学・旅行のために語学を勉強したい」など、目標を立てたり、チャレンジしたいことを考えている人も

多いことでしょう。ぜひ積極的に今年度の目標を考えて、新たなスタートを切れるよう心掛けてみてください。小さな目標であっても、意識的に取り組むことで成功体験を積み重ねられ、生活を充実させることができると思います。

私は今年度から本格的に修士論文を執筆するため、論文執筆に精一杯取り組んだのだという誇りを持てるように、一日一日の研究時間を大切に噛みしめていきたいと思っています。具体的な目標としては、「毎日15分以上、研究テーマについて考え先行研究を読む」という時間を必ず設けることです。シンプルですが、「毎日15分」という目標は意外と難しい気がします。疲れてどうしようもない時でも、お風呂に入っている時間なら考えられそうですし、今年はどこか研究に注力するために、カフェでの勉強などの多少の出費も許そうと思っています(カフェに立ち寄ると意外と集中スイッチが入ったりしませんか?)。本学の図書館の「青蘭館」という学生の滞在スペースには、飲み物の自動販売機の他に、リゾットやスナック菓子など軽食が買える自動販売機も設置されているので、大学に来たら閉館まで利用する機会を増やしたいと思っています。

みなさんも「毎日15分〇〇する」という目標を何か立ててみてはいかがでしょうか?もちろん、学修に関連した目標設

✧ 文学研究科 英文学専攻 ✧  
*Department of English Literature*

- ✧ 自己紹介 ✧  
英文学専攻 博士課程前期 2年
- ✧ 研究対象 ✧  
18~19世紀イギリス詩：ロマン派詩人 William Wordsworth  
(その他興味関心：ヨーロッパ古典文学、西洋哲学・思想史など)
- ✧ ひとこと ✧  
英語・語学習得のコツ、レポート・卒論の不安点、資格取得や留学の相談、人文科学への関心など、お悩みを共有し、一緒に考えてみませんか? お話したい内容がまとまらなくてもOKです◎ 思い立ったらぜひ、お気軽にお越しください! お会いできるのを心待ちにしています◎




定に迷ったときや、モチベーションを保ち続けるのが難しくなった時などは、ぜひラーニング・サポーターにお気軽にご相談ください。一緒に充実した素敵な学生生活を過ごしていきましょう！



ラーニング・サポーターのつぶやき（2023年4月）

ホームページ [https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc\\_ls.html](https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html)

編集: JWU ラーニング・commons さくら